

科目名	東アジア地域論 Economy and Politics in East Asia	科目コード	A0140
-----	--	-------	-------

学科名・学年	全専攻・1年（プログラム3年）
担当教員	佐藤 公俊（一般教育科）
区分・単位数	専攻科科目・選択・2単位
開講時期・時間数	前期，30時間【内訳：講義26，報告発表会4】
教科書	プリントを使用、教科書は後に指定する
補助教材	ウェブページ、プレゼンテーション
参考書	平川均・石川幸一他編著：東アジアのグローバル化と地域統合-新・東アジア経済論Ⅲ（ミネルヴァ書房）

【A. 科目の概要と関連性】

1. 日本と東アジア地域の政治的・経済的諸関係を分析・考察して将来を展望をする。
2. 近年の中国とベトナムの経済発展についての考察と検討をする。

- 関連する科目：法学、社会学、歴史学Ⅰ（以上前々年度履修）
- 歴史学Ⅱ、哲学、経済学（以上前年度履修）

【B. 到達目標と学習・教育到達目標との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
①「東アジア共同体」についてなど日本の対アジア及び対中国、そして対ベトナムの関係のあるべき姿を展望すること。	15%	(B4)
②東アジア地域経済に関して教科書の担当章について報告すること。	25%	(B4)
③東アジアについて歴史的な深みと社会的・世界的な広がりを持つ視野を養うため、東アジア地域経済または興味のある国の経済について個人レポートをまとめ、提出すること。	30%	(B4)
④3の個人レポートにより、プレゼンテーションを行うこと。	20%	(B4)
⑤4のプレゼンテーションを視聴して評価すること。	10%	(B4)

【C. 履修上の注意】

東アジア地域経済に関して、興味のある国の経済について調査して、問題について個人レポートを提出し、それをもとづいたプレゼンテーションをおこなうことが課されている。

【D. 評価方法】

定期試験【60%】（報告書（30），プレゼンテーション（30））、その他【40%】（担当章報告、小論文提出状況、授業時の発言状況）、以上の割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。
60点以上を合格点とする。

【E. 授業計画・内容】 修正版

● 前期

回	内容	備考
1	ガイダンス、自分の関心のある「東アジア」の国の選択 「東アジア」：東アジア諸国、東南アジア諸国、インド	端末室、HP 調査 外務省、総務省統計局、各国 大使館、調査国の資料提出
2	自分の関心のあるアジアの国の経済の調査 日本と東アジアとの関係の現状と課題：東アジア共同体 構想と日中対立	端末室、HP 調査 調査国の経済資料提出
3	中国の経済大国化の現状と課題、資源、環境、通貨、 格差、民主化：日経新聞より	プリント、課題：小論文
4	中国の社会経済発展：グローバルシティ形成、新帝国 循環、	課題：小論文
5	「中国のシリコンバレー中関村」：佐藤報告	課題：小論文
6	ベトナムの改革と経済発展：概論、日越 EPA 締結、タ ンロン工業団地、ノイバイ工業団地、 ？ベトナムからの留学生	課題：小論文
7	ベトナムの改革と経済発展： e-Government 政策（IT 化）とサイエンスシティ政策 「ベトナムの IT 産業」佐藤共著報告	課題：小論文 「Hoalac High Tech Park と Saigon High Tech Park」
8	シンガポールの発展：日本を抜いた！	プレゼンターマ提出
9	東アジアの地域統合、東アジア共同体構想、日中対立： 外務省	課題：小論文 外務省プリント
10	東アジアの経済成長、開発理論、NIES、ASEAN、CLMV の発展：韓国、マレーシア、ベトナム	課題：小論文、プレゼンテキ スト提出
11	東アジアの貿易と投資：JICA の役割：ベトナム	課題：小論文
12	東アジアの金融危機（1997）と金融地域主義 タイの通貨危機	課題：小論文、プレゼン原稿 （PP など）提出
13	東アジアの労働力移動、グローバルシティとの対応 フィリピン、インドネシア、ベトナム	課題：小論文
14	資料調査報告：学生によるプレゼンテーション（1）	プレゼン、コメント
15	資料調査報告：学生によるプレゼンテーション（2）	プレゼン、コメント